

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 16 日(木曜日)18 時 30 分～20 時 40 分		
開催場所	今市まちづくりセンター	参加人数	12 人
出席議員	村武まゆみ、布施賢司、大谷学	補助員	川神裕司
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ あいのりタクシーについて、2 人を集めるのが大変で使いづらい。1 人で利用できれば嬉しい。 ・ mobi というタクシー乗り放題のサービスがある。全国的にもいくつかの自治体が実施しているので、研究して欲しい。 ・ 生活路線バスの高速入口バス停で降者を待つ車の待機場所がなかったが、まんてんにバス停を変更してもらい助かっている。 ・ 地域交通は高齢者だけの問題ではなく、旭地域では子ども達にとっても重要な課題であるので、子どもの視点でも考えて欲しい。 ・ 免許証返納時の帰りにタクシー券が使えるようにして欲しい。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について		
	【産業建設】 地域産業の問題点と課題について ・ 産業の活性化として、定期的な市の開催（農産物だけでなく、体のケアなど）。 ・ 農地活用として、家庭菜園などとして利用できないか。 ・ まんてん（旭地域）のオリジナル商品ができないか。		

自由意見	【総務文教委員会】 *避難所にもなっている今市まちづくりセンターの出入りに、雨をしのぐ軒を設置して欲しい（駐車場から車椅子で来ると大変である） *動物の愛護センターを作って欲しい、災害時に預かってくれるところもないし、相談するところもない（避難所での動物の扱いについて） *介護保険料は郵便局など引き落としはできるが、現金での支払いは郵便局はできなかった。今の時代、郵便局やコンビニでの支払いも対応していただきたい。 *今市まちづくり推進委員会として、移動販売の希望者は民生委員が調査して情報を提供して計画的に巡回している。（助け合いが大事） ・サンビレッジを子どもの遊び場にして欲しい。モルックなどの推進。雨天時に子どもと遊びに行く所があると子どもをもっと産みたいと考えるかもしれない。 ・浜田高校の学力低下が非常に気になる。市内全体が低下しているのだと思う。旭中学はそれほどではない。 ・まちづくりのことなど頑張っている人や、アンケートに答えてもらったらポイントなどがつく仕組みがあると、町に関わっているということが可視化できて、関わる励みになる。 ・子育て祝金として、中学卒業祝金を少額でもいいから出してもらえと、進学就職の準備として使える。親も嬉しいし、子どもも制服、教科書など使えるとに市から祝ってもらっていると感じることができる。 ・空き家対策として、仏壇などの取り扱いなどが問題。
-------------	--

	【福祉環境委員会】 * 医師確保対策事業は浜田市だけでなく、広域で考えた医師対策を考えるべきだ。(旭だと邑南町、大田市にいく方もいる) * 総合診療医を育成することも大事だが、眼科や耳鼻咽喉科など専門医の育成や医師確保対策も必要ではないか。 * 旭診療所では以前 24 時間体制だったが今はしていない。(緊急性がある場合に対応して欲しい) * オストメイト・トイレを設置して欲しい。(今市まちづくりセンターは多目的トイレ、男性トイレにはサニタリーBOX は設置してある) ・ 今市まちづくりセンターの車椅子駐車場から雨にぬれないでセンターに入れるようになると嬉しい。 ・ 災害時の動物の避難可能な方法として動物愛護センターを検討して欲しい。
	【産業建設委員会】 * 今市バイパスが 10 年で、できると言われて期待していたが、最終的に完成は 26 年位かかり長期になることの説明も市と県では食い違いがある。また、地元の要望を聞かずにやろうとしている。近年はコロナで計画は進んでいないが、小学校の跡地には残土を運んできており置きっぱなしである。 * 坂本地区で圃場整備を初期でやった分が痛んできており、計画はしていると聞くが市がなかなか動かない。(公共事業が少なくなっているなので、地元業者も助かる。何十年経ったら見直すとして、三隅や弥栄はやっていると聞く) 条件(全体で 10ha 以上)があるにしても早期に取り組んでもらいたい。 ・

令和 6 年 6 月 3 日 報告者 村武まゆみ